

研究課題名	市販薬過量内服患者の検討
研究機関名	武蔵野赤十字病院 救命救急科
研究責任者	所属 救命救急科 氏名 古島才
研究期間	(西暦) 2024年 1月 ~ (西暦) 2025年 3月
研究の意義・目的	本研究の目的は、薬物過療内服で3次救急搬送となった患者のうち、本邦ではじめて市販薬内服患者の重症度や特徴を精神科処方薬内服患者と比較・検証することである。入手しやすい市販薬の薬物過療内服患者の実態を明らかにすることで、市販薬の適正使用や販売の促進、引いては薬物過療内服の一次予防に寄与する可能性がある。
研究の方法 (対象期間含む)	<p>【研究のデザイン】 通常の診療で既に取得された診療情報を収集、分析する単独・後向き観察研究</p> <p>【予定研究対象者数】 300人</p> <p>【評価・観察の項目及び方法】 患者基本情報：年齢、性別、内服薬物、重症度、希死念慮の有無、精神科転院の有無、過去の薬物過療内服歴、過去の自傷行為歴、過去の精神科入院・受診歴、現在の精神科外来受診歴、アルコール同時摂取、濫用等のおそれのある医薬品6成分の有無、アセトアミノフェンの有無</p> <p>【統計解析の方法】 収集した項目についてEZRを用いて統計解析を行う。</p> <p>【研究の期間】 データ抽出対象期間：2020年9月～2023年9月 研究期間：2024年1月～2025年3月</p>
①試料・情報の利用 目的および利用方法	①試料・情報の利用目的および利用方法 上記に記載の通り
②利用し、又は提供する 試料・情報の項目	②利用し、又は提供する試料・情報の項目 上記に記載の通り
③試料・情報の取得 の方法	③試料・情報の取得の方法 上記に記載の通り
④利用する者の範囲	④利用する者の範囲 研究責任者のみ
⑤試料・情報の管理 について責任を有する 者の氏名又は名称	⑤試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称 古島才、ならびに武蔵野赤十字病院 院長 泉並木
問合せ先	<p>当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問合わせ</p> <p>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 救命救急科 氏名 古島才</p> <p>TEL：0422-32-3111（代表）6812（事務局内線） FAX：0422-32-3525</p>